

シン学校プロジェクト(第1期) 一宮市立小信中島小学校基本計画(案) 地域説明会 当日質疑

- 日時:2025年(令和7)年11月3日 午前10時00分～午前11時25分
- 場所:小信中島小学校 屋内運動場
- 参加者数:33人
- 質疑応答:12件(10人) 詳細は、下記のとおり。
ご質問・ご意見の内容は、発言又は原文の一部を要約、分割するなどし、掲載しています。

No.	ご質問・意見の概要	市の考え方(回答)
1	給食を自校方式からセンター方式にするにあたり、地域住民にどのようにお話しして進めているのでしょうか。また、プールの民間委託は今後安定的に行っていけるのでしょうか。	教育委員会にて、尾西・木曽川地区の学校給食調理場を更新する際に採用すべき給食調理及び提供の方法は、共同調理場で調理した給食を学校へ配送して提供する方式とすることを決めているため、この方針で進めます。プールについては、民間委託をしている学校において、先生の業務軽減が図られ、働き方改革の一環にもなることや、子どもたちにとっては専門家から指導を受けられることに対して好評をいただいています。この場では基本計画に関する意見や質問のみお答えいたします。給食の方式や水泳教育の方針については、別途担当部署にお尋ねください。
2	センター方式になることについて、子どもたちにはきちんと話しているのでしょうか。また、アンケートなどはとっているのでしょうか。	アンケートは行っています。
3	給食や水泳の担当部署とはどこですか。	給食については学校給食課、水泳の民間委託に関しては総務課、授業内容については学校教育課が担当しています。
4	給食が自校方式からセンター方式になると聞き、根拠を知るために教育委員会の議事録を読みましたので、内容を共有します。給食については子どもにアンケートを取ったようですが、センター方式と自校方式にはたった7～8ポイント程度の差しかなかったとのことです。また、法的に衛生面の問題により、給食室として部屋を複数用意しなければならず、土地的にも難しいとのことでした。子どもの声も聞いているし、法律的な課題もあることから、センター方式が決定したのだと思います。	ご意見いただきありがとうございます。
5	給食やプールなどは自分が子どものときに体験したこともあるでしょうが、部活動を地域の方をお願いするなどしているように、今の時代に合わせた学校教育を進めていくべきだと思います。また、防災の面で、地域に学校を開放し何かあったときに誰の責任になるのかという点について慎重に検討していくべきだと思います。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
6	事業スケジュールと概算工事費について、工事費は現時点で24億円かかるとのことですが、今後材料費の高騰などにより費用が膨らむ可能性があります。上がった場合でも、一部計画を止めるのではなく、子どもたちへの先行投資として考えていただきたいと思えます。	
7	プロジェクト推進チームが出した意見を反映していただき良い着地をしたと思います。地域利用については今後学校とソフト面の話し合いが必要だと思います。子どもの安全・安心を考える上で、大屋根広場を確保いただけることがありがたいです。図工室の直上に音楽室という配置ですが、先生方からは図工室の音は大きいため音楽室とは離してもらいたいという話も聞いています。図工室と理科室を入れ替える計画はできないでしょうか。令和10年から3年間かけて実施予定の改修工事は、仮設校舎を建てることなく行うとのこと。子どもたちにどのような負担があるのか、どのように進めるのかなどを教えてください。	音楽室は防音仕様とすることを考えており、1階の図工室で大きな音を出しても2階の音楽室に伝わることはないと考えています。また、北側を地域開放することを考えているので、地域としても使いやすい図工室を北側に、学校施設としての性質が強い理科室を南側に配置する計画としています。工事の手順は、まずプールと給食室を解体し新校舎を建て始めます。新校舎建築と並行して南校舎の改修を行います。夏休みなどの長期休暇を使って徐々に改修し、改修したところから順番に供用開始していきます。
8	地域の方には身体の不自由な方もいます。西側のエレベーターは設計上、他の位置は難しいのでしょうか。地域開放の入り口付近には設置できないのでしょうか。	エレベーターは2台計画しています。西側のものは配膳室のみから使える配膳用であり、児童や教職員、一般の方は使えません。中央のものは、4階までつなぐものを計画しています。地域出入口側にエレベーターを配置しますと、2階までのエレベーターとなるため、児童が4階まで移動できるようにメディアセンターの西側の位置としています。
9	吹き抜けスペースがもったいないと感じます。ただのスペースとしてあるだけでも使い勝手が上がると思いますが、吹き抜けとする必要性があるのなら教えていただきたいです。また、給食について、私が通っていた学校は共同調理場方式だったので、困ったことも不味いと思ったこともありませんでした。単独調理場のデメリットとしては、食材費の予算の関係上、食べられないメニューもあるということを知りました。単独調理が良いという人もいれば、こだわりのない人もいることをお伝えしたいです。	吹き抜けの必要性についてご説明します。既設校舎の凹凸にはめ込むように新校舎を建てるため、接続部分の空間は周囲に窓がない状態になります。法律上、部屋には窓を付けなければならず、ここを部屋として使うための吹き抜けを設け、北側上部の窓で採光と通風を確保する計画としています。
10	地域開放する場合のセキュリティはどのようにお考えでしょうか。	現在、屋内運動場を地域に貸し出していますが、玄関にスマートロックがついており、事前申請をして誰が借りるのかを明確にしています。今回の計画では、学校の授業が終わると新校舎(地域開放エリア)と南校舎(学校専用エリア)の接続部の扉を閉め、地域開放エリアから学校専用エリアへの侵入を制限します。実際のセキュリティや運用については、今後、基本設計や実施設計の中で検討いたします。
11	普通教室に関して、児童数は減っていくが、少人数学級の導入により必要教室数が増える可能性があります。教室数を増やすことは考えているのでしょうか。また、教材が多く現在でも置く場所が少ないと聞きますが、棚を置いたり余裕を持たせたりするために教室の大きさを広くすることは可能でしょうか。	2025年度5月時点の児童数は、1年生が64名、2年生が85名、3年生が99名、4年生が91名、5年生が102名、6年生が103名です。今後、児童数が減少し、35人学級が30人学級、25人学級になったとしても、現状の各学年3クラスという教室数で対応できると考えています。教室の広さは現状63㎡程度です。これを70㎡、80㎡に広げることは現状では考えていません。教室の大きさは変えませんが、児童が減るためゆとりが出てきます。また、近年の児童数に合わせて1人あたりのロッカーの大きさを大きくし、教材を収められるようにする必要があります。
12	近年は夏が非常に暑く、クーラーの設置が必須だと思います。吹き抜けはどのような空調にするのか。全館空調にすることも考えられるのでしょうか。	空調については、基本設計や実施設計の中で効率の良い方法を検討します。現在は個別方式であり、メンテナンスが比較的容易にできる点から引き続き第一候補に上がると想定しています。全館空調は設備が高額な点などから難しいと考えます。ただし、吹き抜け空間は大空間となるため、どのような方式が良いのかは議論していきます。